

令和3年度 東京都高等学校文化祭 軽音楽部門大会
東京都高等学校対抗バンドフェスティバル (第14回)
～第46回全国高等学校総合文化祭東京大会軽音楽部門プレ大会～
実施概要

東京都高等学校文化連盟軽音楽部門

実施要項発表までにもうしばらく時間を要しますので、まずは概要のみ発表します

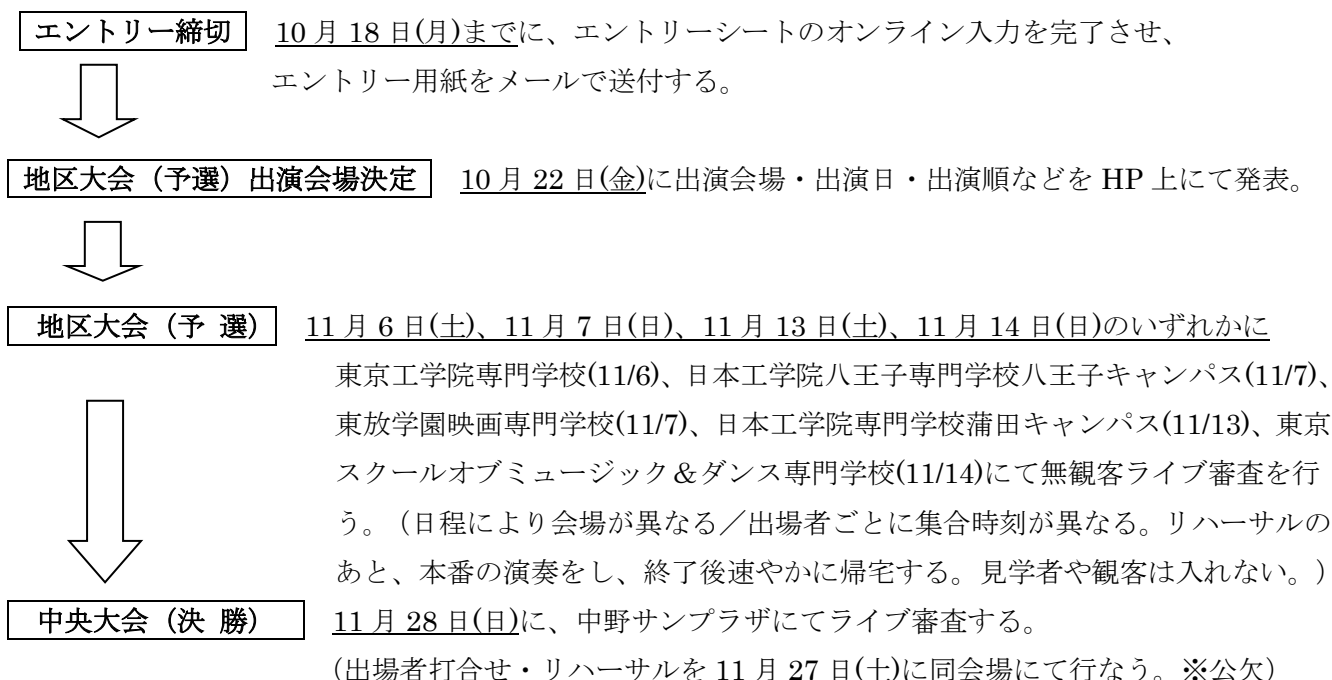
はじめに

本大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止ならびに参加生徒の安全を第一に考えた上で実施する予定です。「とうきょう総文2022」のプレ大会としての位置づけでもあり、東京都高等学校文化連盟の指導のもと、今後要項を発表いたします。本大会への参加につきましては、社会情勢次第で、細かいレギュレーションも含め急な変更があり得ることを承諾の上お願いします。

大会概要

東京都高等学校文化連盟軽音楽部門に加盟しているクラブの部員が、同一クラブ内でバンドを編成し、学校(クラブ)の代表として、各クラブ1バンドのみが出場する。コピー・オリジナルを問わず、地区大会(ライブ審査)を通過したバンドが、中央大会(ライブ審査)に進出する(ただし、本大会は「とうきょう総文2022」プレ大会の位置づけでもあるため、コピー曲で中央大会に進出する際は、事前に著作者の許諾を得ておくことが必須)。大会の趣旨として、学校(クラブ)対抗戦の位置づけをしている。東京都教育委員会・東京都高等学校文化連盟の主催行事として行う。

【大会の流れ】



【備考】

- (1) 地区大会(予選)・中央大会(決勝)リハーサル、中央大会(決勝)本番、すべて顧問（または代理顧問）の引率が必要です。
- (2) 参加費は、無料です。
- (3) 東京都高等学校文化連盟軽音楽部門に加盟している軽音楽系クラブの部員であり、かつ令和3年度に17歳を迎える生徒まで参加できます。
- (4) バンド（参加グループの総称。以下同じ）の構成メンバーは、同一の高等学校に在籍し、かつ同一のクラブ（同好会）で活動していることとします。また、同一経営学園内の中学校生徒は、その生徒が所属するバンドに高校生が入っていればその参加を認めます。
- (5) 出場人数について、大勢の場合は、ステージの広さ、マイクの数など一定の制限がありますので、事前にご相談ください。
- (6) 中央大会(決勝)でグランプリおよび準グランプリを受賞したバンドには『教育委員会賞』が、奨励賞を受賞したバンドには『高等学校文化連盟会長賞』が、それぞれ授与されます。なお、中央大会で(オリジナル曲を演奏して)受賞した学校は、令和4年度全国高等学校総合文化祭東京大会(とうきょう総文2022)への出場を推薦されます。